

平成 25 年 10 月 11 日

各位

会 社 名 株式会社市進ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 下屋 俊裕
 (JASDAQ コード番号 4645)
 問合せ先 取締役統括本部副本部長 竹内 厚
 (TEL 047-335-2888)

平成 26 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 及 び 特 別 損 失 の 発 生 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 25 年 4 月 11 日に公表しました平成 26 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 を 修 正 い た し ま す の で、お 知 ら せ い た し ま す。同 期 間 に お い て 特 別 損 失 を 計 上 す る 予 定 で す の で、下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 26 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

平成 26 年 2 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 25 年 3 月 1 日 ~ 平 成 26 年 2 月 28 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	19,183	377	367	101	11円23銭
今回修正予想(B)	18,304	117	78	△620	△68円70銭
増減額(B-A)	△879	△260	△289	△721	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 2 月 期)	19,139	△780	△785	△1,577	△174円70銭

・修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ通期連結業績予想について上表の通り修正をいたします。

売上高減少の主要因は「市進学院」(株式会社市進)の集団授業の生徒数において厳しい状況で推移している点にあります。第3・第4四半期においても当初見込みを下回る予測としております。一方で「市進学院」の新規開校拠点につきましては当連結会計年度3月に開校した「流山おおたかの森教室」ではすでに200名近い生徒を集客し、夏期講習より開校した「千葉ニュータウン中央教室」も順調に生徒数を伸ばすなど、同じく新規開校した八幡宿教室、蘇我教室、9月に移転リニューアル開校した本八幡教室とともに下半期の売上高に貢献するものと思われま。茨城県で展開している学習塾「茨進」(株式会社茨進)においては、夏期講習から土浦木田余校、友部駅前校を開校し、さらに12月に新規に1教室を開校予定であり、売上高の伸長に貢献するものと思われま。そのほか、株式会社個学舎においては11月にFC教室の開校が既に決まってお。り、順調に生徒数を増加させている株式会社市進総合研究所の幼児教育「桐杏学園」、同じく加盟拠点校数を増加させている映像授

業配信の株式会社市進ウイングネット、学校法人や医療機関など幅広い顧客先にDVD映像を販売しているジャパンタイム株式会社など、各社とも営業利益の改善に貢献するものと思われま

す。経費面におきましては、当第2四半期連結累計期間までの経費節減実績を継続した上で、グループ全体でのさらなる節減努力に取り組み、年間での営業利益・経常利益の確保に努めます。

通期業績予想における売上高は18,304百万円(前連結会計年度比95.6%)、営業利益は117百万円(前連結会計年度営業損失780百万円)、経常利益は78百万円(前連結会計年度経常損失785百万円)と予測しております。通期業績予想は当初予想を下回るものの年間での営業利益は前期比896百万円の改善、経常利益は863百万円の改善となる見込みです。また後記の特別損失計上を見込んだうえで、当期純損失は620百万円(前連結会計年度純損失1,577百万円)と予測しております。

2.平成26年2月期通期における特別損失の発生について

来期以降に向け、「市進学院」の不採算拠点について、個別指導塾への業態変更や教室面積規模の縮小などの計画をしており、そのための原状回復工事費用等約94百万円を特別損失に計上する予定です。

(注)上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上